「ぶちエコやまぐちF I T非化石証書共同購入事業」に係る支援事業者の募集についての質問回答

No	項目	質問内容	回答	回答日
1	仕様書：P 1 3 事業内容 (1)	購入希望者を募集する際、非化石エネルギー源の種別(発電設備区分)や発電設備の所在地(都道府県単位)について、県が具体的に指定する基準や時期はありますか？	県が指定する基準、時期等は今後、支援事業者と協議の上、決定します。	7月31日
2	仕様書：P 2 5 支援事業者が行う業務内容 (1) 事業の実施体制の構築及び総括責任者等の選任 イ	統括責任者の応募要件である「本事業又は本事業に類似した事業に従事した経験」について、具体的にどのような事業内容や規模であれば「類似した事業」として認められますか？ また、その経験を評価する上での具体的な基準や重点項目があれば教えてください。	電力需要家の委託を受け、非化石価値取引市場からF I T非化石証書を購入した経験があれば規模に関わらず可です。 また、経験年数、エネルギー管理士等の資格保有者の有無、調達件数、調達量等の実績を参考に評価します。	7月31日
3	仕様書：P 2 5 支援事業者が行う業務内容 (3) 広報宣伝	県が実施する広報活動と支援事業者が行う広報活動の具体的な連携方法や、県が期待する支援事業者側の役割(例：提供する広報資材の承認プロセス、県広報への協力体制の詳細)について、より詳細な情報提供をお願いします	広報活動の具体的な連携方法は次のとおりです。 ・県ホームページと専用ホームページの双方にリンクを設定 ・県が実施する市町等に対する事業説明、広報依頼への協力 期待する支援事業者の主な役割は次のとおりです。 ・県の広報活動(県ホームページ、SNS、広報誌、研修会資料等)で利用する専用ホームページのコンテンツ、広報チラシデータ等の広報資材の提供 ・インターネット、SNS等を効果的に活用した幅広い周知活動	7月31日

4	仕様書：P 2 5 支援事業者が行う業務内容 (4) 説明会	本事業に関する説明会は、想定される回数や規模の目安、対象者はどのようなものですか？ また、県からの会場提供や参加者募集への協力など、どのような支援が期待できますか？	説明会の実施については、日本卸電力取引所（JEPX）が開催する各取引市場の開催に合わせて、1回程度を目安に、購入を検討している事業者等を対象にオンライン形式での実施を予定しています。 なお、県は参加者募集に関する広報活動は行いますが、説明会の開催・運営は支援事業者にて実施してください。	7月31日
5	仕様書：P 3 5 支援事業者が行う業務内容 (6) ライセンス契約及び著作権イ 著作権（ウ）	本事業の実施に伴い発生する著作権（著作権法第21条から第28条までの権利）を県が無償で行使できるとありますが、具体的にどのような成果物（例：専用ホームページの全てのデザイン・コンテンツ、広報物、作成された業務マニュアル、アンケート結果の分析データ等）の著作権がこれに該当しますか？ また、県による二次利用の範囲や目的について、具体的に制限はありますか？	著作権の行使について、県の広報活動（県ホームページ、SNS、広報誌、研修会資料等）にて成果物を利用することを想定しており、主に専用ホームページのデザイン・コンテンツ、広報物等の利用を予定しています。 また、二次利用の範囲や目的に関する制限は設けていないため、上記以外にも必要に応じて著作権を行使する場合があります。	7月31日
6	仕様書：P 4 9 経費	本事業に要する経費は支援事業者の負担と明記されていますが、JEPXの非化石価値取引市場における価格の急騰や供給不足など、支援事業者の責めに帰すことができない予期せぬ市場変動による損失が発生した場合、県として何らかの考慮や軽減策はありますか？	購入希望者からの手数料および自己資金等により対応するものとし、県から財政的支援は行いません。	7月31日